

上下水道局

平成29年度 重点目標

- 1 持続可能な事業運営の推進
- 2 きれいで安全な水を供給する上水道事業の推進
- 3 上水道施設の計画的な維持・更新
- 4 下水道施設の計画的な維持・更新
- 5 災害に強い体制の構築

平成29年度 重点目標管理シート

重点目標	持続可能な事業運営の推進			部局名	上下水道局	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 施策体系	2014市長マニフェスト における位置付け		Ⅱ-1-②	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1)住みたい住みたいと思うまちづくりへの改革 ウ 広域連携の推進、(2)支える財政基盤の改革 ア 歳入の確保 イ 健全な財政基盤の構築						
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の減少等に伴い料金収入が先細りする一方で、老朽施設の更新や耐震化費用が増大することから、今後10年間の経営の基本計画である「経営戦略」を策定しました。今後もこの「経営戦略」を基本としつつ、中長期的な収支バランスに留意しながら、定期的に事業の見直しを行っていく必要があります。 ・熟練技術者の退職や異動により、技術力の確保・継承が難しくなっているため、人材の計画的な育成が求められています。 						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した財源を確保するため、収納率の向上や水洗化の促進に取り組みます。 ・給水区域が複合する県企業局・長野市・上田市・千曲市・坂城町の5事業体で構成する水道事業運営研究会に参加し、広域連携の研究を進め、経営の合理化について検討します。 ・財源を考慮しながら、事業計画において真に必要な事業の選択と集中を行い、毎年ローリングを行いながら事業を推進します。 ・職員に対して外部研修の受講や資格取得を奨励し、人材育成を図ります。 						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
①	○収納率の向上 水道料金・下水道使用料（現年度分）	3月	収納率 水道 99.26%（H28実績） 下水道99.15%（H28実績）	収納率 水道 98.57%（9月末現在。前年同期98.44%） 下水道98.38%（9月末現在。前年同期98.35%）	水道99.33%、下水道99.19%、計99.26% （参考） 平成28年度 水道99.26% 下水道99.15% 計99.20% 平成27年度 水道99.14% 下水道99.04% 計99.08%		
②	○水洗化の促進 公共下水道地域、農業集落排水事業地域の戸別訪問等による水洗化促進の実施	4月～3月	新規接続戸数750戸を目標とする	新規接続戸数 386戸（9月末現在。目標達成率51.5%） 参考 4月（96戸）、5月（70戸）、6月（72戸）、 7月（50戸）、8月（51戸）、9月（47戸）	新規接続戸数 850戸 目標達成率113.3% （参考） 平成28年度 目標700戸に対し972戸接続 平成27年度 目標650戸に対し993戸接続		
③	○広域連携に向けての研究・検討	4月～3月	水道事業運営研究会への参加 ・全体会 1回 ・広域防災体制分科会 2回 ・水質検査分科会 2回 ・料金徴収分科会 2回 ・施設・給水エリア分科会 2回	水道事業運営研究会への参加 ・全体会 1回 ・広域防災体制分科会 2回 ・料金徴収分科会 1回 ・施設・給水エリア分科会 2回	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業運営研究会への参加 ・全体会2回（災害時の応急活動に関する協定を締結） ・広域防災体制分科会4回 ・料金徴収分科会3回 ・水質分科会1回 ・施設・給水エリア分科会2回参加 		
④	○経営戦略で定めた事業計画の見直し (1) 担当課による調書作成 (2) 財源に見合った計画の見直し	(1) 5月 (2) 7月	経営戦略で定めた事業計画の見直し、ローリングを行い、翌年度以降の実施計画、予算に反映	経営戦略で定めた事業計画（投資・財政計画）を見直し、これを実施計画に反映させた。	経営戦略で定めた事業計画（投資・財政計画）を見直し、これを実施計画と平成30年度の当初予算に反映させた。		
⑤	○人材の育成 継続的な外部研修の受講促進や資格取得の奨励による人材育成の実施	4月～3月	外部研修・資格取得研修受講 ・上下水道技術関係 延べ26人 ・作業資格取得講習会 延べ10人	外部研修・資格取得研修受講（9月末現在） ・上下水道技術関係 延べ19人 ・作業資格取得講習会 延べ9人	外部研修・資格取得研修受講 ・上下水道技術関係 延べ37人 配管設計講習会（日本水道協会）、管きよの調査・点検（日本下水道事業団）等 ・作業資格取得講習会 延べ15人 小型車両系建設機械（3t未満）技能講習（中部技能協会）、 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技術講習（上小労働基準協会等）等		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 健全な事業経営によるライフラインの維持。			○取組による効果・残された課題			

重点目標	きれいで安全な水を供給する上水道事業の推進			部局名	上下水道局	優先順位	2位
総合計画における 位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 施策体系	2014市長マニフェスト における位置付け	I-2-④		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(2) 支える財政基盤の改革 ウ 市有財産の適切な管理と利活用						
現況・課題	上水道事業は、上水道3、簡易水道4の計7事業で運営されていますが、これらの事業を1事業に統合することで水源の有効活用、効率的な水運用等による安心安全な水の安定供給、維持管理の省力化、効率化等による経営の健全化を図ります。 また、水源は河川の表流水、ダム水、地下水や湧水などで29箇所にとんでおり、湧水水源の中には、降雨時における水質が不安定となるものがありますが、一方で、真田地域には水質が安定し、水量も豊富な湧水があることから、真田地域簡易水道統合事業により、この湧水の有効活用を図ります。						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 安定した湧水の活用を行うことにより、現在よりも効率的にきれいで安全な水を安定供給することができるようになります。 安心安全な水道を将来にわたって維持し、持続的な水道水の供給を確保するため、取組指針となる「新水道ビジョン」を平成30年度末までに策定いたします。 						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）			期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	○水源水質検査の強化体制の継続 水源の水質検査	3月	クリプトス [®] リジウム 13箇所 30検体 指標菌 23箇所 112検体	クリプトス [®] リジウム 8箇所 16検体 指標菌 23箇所 61検体	実施 "		クリプトス [®] リジウム13箇所・30検体、指標菌23箇所・112検体目標通り検査終了、検出はなかった。
②	○真田地域簡易水道統合事業の推進 つちや・滝の入水源を活用した新たな導・配水管の整備	3月	真田町長大日向地区への給水開始 配水池 1池 管路 L=1.3km	配水池 N=1池 発注済 減圧槽 N=1池 発注済 管路 L=3.3km 発注済			真田町長大日向地区への給水開始予定(4/9) 配水池 N=1池 完了 減圧槽 N=1池 完了 管路 L=4.0km 完了
③	○水道事業ビジョン策定（H29～H30） 計画期間H31～H40	3月	H30年度の策定に向けた基礎数値の整理	水道事業ビジョン策定 発注済 耐震化計画、アセットマネジメントの基礎となる簡易耐震診断（全54箇所）が完了。			水道事業ビジョン 【発注済】 耐震化計画、アセットマネジメントの基礎となる数値の整理完了。
④							
⑤							
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 「安全でよりおいしい、質の高い水の供給」という市民ニーズに対応し、さらに安定的に効率よく水を供給するために各種の事業を実施します。			○取組による効果・残された課題			

重点目標	上水道施設の計画的な維持・更新			部局名	上下水道局	優先順位	3位
総合計画における 位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 施策体系	2014市長マニフェスト における位置付け	I-2-④		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け							
現況・課題	上水道は、ガス、電気と並び市民の安全で快適な生活環境の確保のために必要不可欠なライフラインであり、一日たりとも休むことのできない重要な施設です。管路施設は、現在も創設当時のものが残存していることから、計画的な更新が必要であり、東日本大震災などの未曾有の大規模地震が発生していることから、管路施設の耐震化を進める必要があります。						
目的・効果	上水道施設の計画的更新や耐震化により、大規模災害はもちろんのこと、日常の管破裂などの減少が期待できます。計画的な改築更新を行うことにより、投資額の平準化が図られ、安定した事業運営が期待できます。						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
①	○上水道管路耐震化 管路の耐震化	4月～3月	L=4.0km (真田地域簡易水道統合事業を除く)	L=2.9km 発注済 (真田地域簡易水道統合事業を除く)	L=2.2km 【完了】 L=2.5km【7月末完了予定】 (真田地域簡易水道統合事業を除く)		
②	○ポンプ場の設備更新 (1)上洞ポンプ場の設備更新 (2)尾野山ポンプ場の設備更新	(1)3月 (2)3月	(1)上洞ポンプ場 ポンプ2基 (2)尾野山ポンプ場 ポンプ2基 制御盤1面	(1)上洞ポンプ場 ポンプ2基 11月発注予定 (2)尾野山ポンプ場 ポンプ2基・制御盤1面 発注済	(1)上洞ポンプ場 ポンプ設備2基更新延期：更新予定ポンプの型式が変更となり、現状の建屋、基礎では設置不可能なことが判明。今後ポンプ型式、基礎、配管方法等含め再検討。 (2)尾野山ポンプ場 ポンプ設備2基更新・制御盤1面更新：3月設備更新完了。		
③	○腰越浄水場の薬品注入設備更新 緩速系フラッシュミキサー及び急速系PAC注入設備	3月	緩速系フラッシュミキサー 1基 急速系PAC注入設備 1式	緩速系フラッシュミキサーを急速系苛性ソーダ自動注入設備に変更 設計中 急速系PAC注入設備 1式 発注済	急速系苛性ソーダ自動注入設備及びPAC自動注入設備のについて設備設置3月完了。 *腰越浄水場原水はアルカリ度が低いため、凝集の為にPH調整が必要なことから、緩速系フラッシュミキサーを急速系苛性ソーダ自動注入設備に変更し、より重要度の高い急速系の凝集沈殿能力を高めた。		
④	○有収率の向上 漏水調査の実施と漏水箇所の修繕	3月	86%	83.9% (9月末現在。前年同期84.9%)	83.62% (前年度84.65%)		
⑤	○浄水場及び配水池等の耐震診断業務	3月	上田地域 12箇所 丸子地域 3箇所 武石地域 3箇所	上田地区 5箇所 発注済 丸子地区 1箇所 //	上田地区：新屋沈砂池・染屋第2配水池・石舟ろ過池・神科配水池・倉升第2配水池・丸子地区：鹿教湯浄水池について耐震診断実施済。 *耐震診断計画時は簡易診断で計画したが、より正確性、また、耐震補強方法等も含め検討、地盤調査も必要となったことから、箇所あたりの経費が増え箇所数が減った。耐震補強概算費用も出るため今後の耐震補強が更新かといった検討には有効となる。		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 安定的に水を供給するために、水道管の耐震化を推進し、各施設の更新事業を実施します。			○取組による効果・残された課題			

重点目標	下水道施設の計画的な維持・更新			部局名	上下水道局	優先順位	4位
総合計画における 位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 訪れたい・住みたいという戦略 施策体系 移住・二地域居住を促進する施策の推進	2014市長マニフェスト における位置付け	I-2-④		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(2) 支える財政基盤の改革 ウ 市有財産の適切な管理と利活用						
現況・課題	下水道管渠の整備はほぼ完了しましたが、快適な水環境を創造するためには下水道未整備箇所を早期の解消が必要です。また、人口の減少や少子高齢化の進行、省エネルギー化など、社会状況の変化に伴い、市民のライフスタイルも大きく変化し、下水の流入量も微増に留まっています。下水道施設の維持管理の効率化を更に図る上で、公共下水道施設への接続が有利と思われる農業集落排水施設については、公共下水道との統合についても検討が必要です。下水道が建設から維持管理の時代に移行していく中、施設の老朽化が課題となっており、老朽化が進む施設の計画的な更新を図るため、下水道施設長寿命化計画を策定し事業を実施しています。安定した下水処理を維持するため、計画に基づいて施設の更新を実施していく必要があります。						
目的・効果	良好な生活環境と水環境を形成するため、下水道未整備箇所の管渠工事を実施します。社会情勢の変化に対応した効率的な施設の維持管理を図るため、農業集落排水施設と公共下水道施設の統合計画を進めます。安定した下水処理を確保するため、下水道施設長寿命化計画による施設の更新を図ります。						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
①	○長寿命化事業の実施 丸子・西内処理場の設備更新 真田処理場・神川東ポンプ場の実施設計 ストックマネジメント計画策定	4月～3月	2処理場の更新工事の実施 1処理場・1ポンプ場の実施設計 ストックマネジメント計画の策定	2処理場の更新工事 発注済 1処理場の実施設計 発注済 1ポンプ場の実施設計 発注済 ストックマネジメント計画策定 発注済	丸子処理場（債務負担工事）は更新工事を完了した。 西内処理場更新工事は繰越（6月末完了予定） 真田処理場・神川東ポンプ場実施設計業務委託を完了した。 ストックマネジメント計画策定業務委託は繰越（6月末完了予定）		
②	○新下水道ビジョン策定（H29～H30） 計画期間H31～H40	4月～3月	H30年度の策定に向けた基礎数値の整理	新下水道ビジョン策定 7月発注済	新下水道ビジョン策定に必要な資料収集を行い、基本方針を設定した。		
③	○下水道未整備箇所の解消 公共下水道計画区域内の未整備箇所の解消	4月～3月	未整備箇所の解消 上田地域：7箇所 丸子地域：1箇所	未整備箇所の解消 上田地域：6箇所解消 2箇所発注済 丸子地域：1箇所10月発注予定	未整備箇所の解消 上田地域：7箇所を解消 1箇所を発注し繰越（6月末完了予定） 丸子地域：1箇所を発注し繰越（5月末完了予定）		
④	○農業集落排水の公共下水道への統合事業推進 統合に向けた財産調査	4月～3月	3処理場の財産調査の実施 （藤原田、和子、荻窪）	3処理場の財産調査 発注済	藤原田、和子、荻窪の財産調査を完了した。		
⑤	○農業集落排水施設の機能強化事業の実施 岡処理場の実施設計	4月～3月	3処理場の実施計画書作成 （岡、本原南、本入） 岡処理場の実施設計	3処理場の実施計画書作成 発注済 岡処理場の実施設計 発注済	3処理場の実施計画書作成を完了した。 （岡、本原南、本入） 岡処理場の実施設計を完了した。		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・清潔で快適に生活するための社会インフラ整備として、下水道管渠未整備箇所の解消を図ります。 ・下水道未普及地域の解消が図れ生活環境が向上するとともに河川などの水質改善が図れます。 ・下水道施設長寿命化計画に基づき、施設等の更新を行い経営の安定化と生活環境の維持に努めます。			○取組による効果・残された課題			

重点目標	災害に強い体制の構築			部局名	上下水道局	優先順位	5位
総合計画における 位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 施策体系	2014市長マニフェスト における位置付け	I-2-④		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け							
現況・課題	上下水道建設から維持に携わってきた熟練技術者の退職や職員異動等により、災害時に迅速に対応できる技術の確保が課題となっています。大規模地震災害などに備え、災害時の応急給水活動体制など、ソフト面での対応が必要です。						
目的・効果	各種の災害に備え、危機管理マニュアルを適時に点検するとともに、災害対応訓練を定期的実施して職員の危機管理対応能力の向上を図ります。						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
①	○災害時等、緊急時の体制整備について	4月～3月	大規模災害を想定した応急給水・応急復旧時の具体的実施体制について見直し、マニュアルを改訂	7/26災害時の応急活動に関する協定締結。マニュアル改訂は後期で。	震災対策マニュアルの初動体制（～72時間）を改訂。		
②	○防災訓練の実施 防災訓練の実施による危機管理対応能力の向上	4月～3月	応急給水訓練 2回 他水道事業体との合同訓練 1回 緊急連絡管操作訓練 1回 灯油等流入事故対応訓練 1回	応急給水訓練 3回 ・ 応急給水訓練（局内）…5/25参加者 32名 ・ 給水車操作訓練（丸子地区）…7/28参加者7名 ・ 上田市総合防災訓練（市）…9/2参加者 15名 他水道事業体との合同訓練 1回 ・ 応急給水応援訓練（練馬区）…9/10参加者 2名 緊急連絡管操作訓練 1回 ・ 緊急連絡管操作訓練（県水）…7/23参加者 20名 灯油等流入事故対応訓練…10月実施予定	応急給水訓練 4回実施済 ・ 応急給水訓練（局内）…5/25参加者 32名 ・ 給水車操作訓練（丸子地区）…7/28参加者7名 ・ 上田市総合防災訓練（市）…9/2参加者 15名 ・ 応急給水訓練（局内）…11/15参加者 22名 他水道事業体との合同訓練 3回実施済 ・ 応急給水応援訓練（練馬区）…9/10参加者 2名 ・ 水道事業合同防災訓練…11/28参加者 45名 参加機関（県企業局、長野市、千曲市、坂城町、上田市他7機関） ・ 日水協全国地震等緊急時訓練 県水協情報伝達訓練…1/24 緊急連絡管操作訓練 1回実施済 ・ 緊急連絡管操作訓練（県水）…7/23参加者 20名 灯油等流入事故対応訓練 1回実施済 ・ 灯油等流入事故対応訓練 …3/20参加者 16名 （10月予定台風で延期）		
③							
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 各種の災害に備え、職員の危機管理対応能力の向上を図ります。			○取組による効果・残された課題			